

**企画商工部理事** (2) 地元で設置されたバス待合所の維持管理については、今後も設置者で管理をお願いしたい。

**市長** 道の駅については、設置をされると地域や大村市のPRにもなり波及効果が期待される。なお、認定にあたっては市の財政支援が必要である。財政的な問題もあるが、今後とも長崎河川国道事務所等と協議をしながら、大村市の活性化のために実現に向けて市民のご理解を得ながら、積極的に取り組んでいきたい。

(その他の質問事項)  
・障害者自立支援法について

地域包括支援センターの今後の取り組みと高齢者の外出支援としての交通手段について。市指定ゴミ袋の改善について。

**三田村議員**

(1)福祉保健行政について  
地域包括支援センターが新しく設立し名前も機能もなかなか地域の方々に一般的に知られていないように感じる。アピールはどのようにされているか。又センターの役割は明確化されているが現在の問題点と今後市直営のセンターとしての方針を示していただきたい。

高齢者の交通手段について

今県営バス廃止路線や減便路線の案が示されましたが65歳以上の高齢者の方々が健康で元気であるために、のりあいタクシーなど検討し、安い料金で、気軽に外出できるように今後の高齢者の交通手段について市としての基本的な考えを示してほしい。

(2)市民環境行政について  
市指定のゴミ袋についての改善現在のゴミ袋は女性や高齢者の方が結びにくい、下げにくいと問題になっていきます。一日婦人議会でも婦人の声として行政に改善の依頼がありました。是非縛りやすいゴミ袋の改善をお願いいたします。

**福祉保健部理事** (1) 包括支援センターの内容を載せた冊子を各家庭や各種団体に配布をしている。また地区別ミーティングの中で、説明を行い、各種会議の中でも話をし、PRに努めている。本市の特徴として予防プランの作成とマネジメントを直営で行っているが、プランの作成とマネジメントに手間と時間がかかっている。特定高齢者の把握や地域のケアマネージャーの支援等の役割が充分果たせていない現状があり、今後の方針としては、職員体制を整え、本来の役割を果たすことが重要であると考えている。

**市長** 高齢者の社会参加を促進



大村市家庭系指定ごみ袋

するため交通手段の確保は重要なポイントだと考えている。市内のバス路線確保対策協議会において交通弱者の方々への対策として路線見直しなどもあわせて検討を進めていきたい。

**助役** 大村市内の路線バスや交通の確保については、20年4月に向けて抜本的な対策を考えていく必要がある。全体を総合的に捉えて市民の意見等いただきたい。から取り組んでいきたい。

**市長** (2)原油の高騰により製造費が上がっている状況もあり、調査をし、選択肢を広げるという意味も含め、導入の方向で前向きに取り組んでいきたい。

民間委託で市民の  
安心安全は本当に  
守られるのか!!

**松崎議員**

(1)総務行政について  
地縁団体認可取消については認可要件である土地は町内会ではない。早急に取消すべき。

大村市上水道施設等運転管理業務委託の条件付き一般競争入札の条件について  
水道局で入札条件をつけられていると思うがどうか。申請書の確認もなされ、入札資格確認もされるのか。この条件だと大手中央部の会社となると思うが、5年分を一括入札されるのか。業務委託の分割は市職員の業務と明確に分け、その技術等責任者は常駐されるのか。

(2)教育行政について  
給食センターの民間委託後の契約書・仕様書に基づく安心安全のための指導監督は？随算定はどのようにされるのか。  
認定こども園の推進状況はどうか。利用者・経営者側から見たそれぞれの問題点をどのようにとらえられているのか。幼保連携型でということであったが、この一つでいけるのか。

**総務部長**

(1) 法律で定める取消し要件に該当しないので、取消す考えはない。町内会内部で論